

現職教員の成長を促す温かな学び合いの場

平成 28 年度の「現代的学校教育の課題解決シリーズ 2016」の学び合う仲間による教育研修りレー講座が、5月14日（土）の第1回目をスタートさせました。

年度初めの忙しい時期にもかかわらず、自分の問題意識に基づいた主体的な態度で8名の参加者がありました。静岡県の常葉大学教授の堀井啓幸（教育経営）先生による、「アクティブ・ラーニングを活かす教育環境」と題して、地元のウナギパイのおみやげ持参で和気あいあいとした雰囲気のなかで行われました。学び合いあり、愛知県東浦町立緒川小学校のオープンスクールの実践ビデオあり等、盛りだくさんの内容でした。



<参加者の感想から>

- ・アクティブ・ラーニング（AL）の進め方や前提条件を学修することができ、参考となった。ALを進めるためにも、職員の協力、意識改革が必要であることが確認できた。
- ・オープンプラン・スクールに大変興味を持った。映像を見せていただいたので、イメージが湧き、かなり前から独自に取り組んでいたことを初めて知り、驚いた。
- ・ALの背景となる考え方や環境等について多くのヒントをいただくことができ、参加して本当に良かったと思った。是非、わが校での実践にも生かしていきたい。
- ・様々な立場からの意見が聞けて、自分の考えが広がった。また謙虚に仕事に励みたいと思います。
- ・オープンスクールはボランティアによる支援、担当教師の準備など、時間や労力がかかるが、効果的な活動と前向きに受け止められた。単元計画をしっかりと立て、ALをどこで、どのように、どんな方法で用いるのか計画的・継続的に行っていくのが重要であると思った。